

ジョリーフォニックス

総合トレーニング



2022年
2月

2022年2月

オンライン
4.5~5時間 × 4日間

19・20・26・27

(土) (日) (土) (日)

英語の読み書きの基礎の指導は『フォニックス』で。その中でも『シンセティック・フォニックス』はイギリスをはじめ世界各国で21世紀から指導され始めた非英語話者にも効果の上がる新しいタイプのフォニックスです。その草分け的な教材群で非常に高い学習効果(*)を誇る『ジョリーフォニックス』を基礎の基礎から実際の指導方法まで総合的に学びましょう。

(*) Clackmannanshire Case Study

英語の読み書きの基礎『フォニックス』は

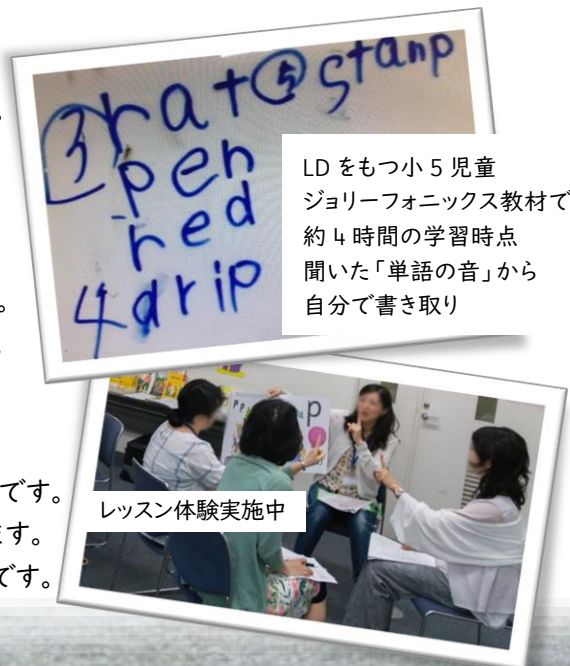
- ✓ 「アルファベットの音」や「英単語の読み方」のことではありません。
- ✓ 英語の読み書き指導の**一番初めの段階で身に付けたい**技能です。
- ✓ 教える側が指導目的をしっかりと理解できていることが大切です。

新しいフォニックス『シンセティック・フォニックス』では

- ✓ **習い始めてすぐに読み書きを学習し**始めます。
- ✓ **聞いた英語の音を書き、書かれた単語をきれいな発音で読**めます。
- ✓ 外国語として英語を学ぶ子どもにも**高い学習効果**が確認できます。
- ✓ 教える側にネイティブの発音スキルがなくても**問題ありません**。

さまざまな国で使用されている教材『ジョリーフォニックス』は

- ✓ **誰でも日本語で教えることができる、体系的に構成された教材**です。
- ✓ **子どもの視点を主体とした指導法で、多感覚を活用して指導**できます。
- ✓ **学習障害をもつ子どもを含むさまざまな人に使ってほしい教材群**です。



LDをもつ小5児童
ジョリーフォニックス教材で
約4時間の学習時点
聞いた「単語の音」から
自分で書き取り

レッスン体験実施中

山下桂世子 <https://kayokoyamashita.com>

ジョリーフォニックス&ジョリーグラマートレーナー

日本で小学校教諭(通常学級と特別支援学級)として勤務後、渡英。イギリスではプリスクールでの勤務を経て、少数民族サポート機関EMASSへ。その後イギリス現地小学校でLanguage Assistant兼特別支援チームリーダーとして活動後、Teaching Assistantとして長年勤務。現在は特別支援学級リーダー(SEN Provision Leader)として活躍中。

一方、現地ACE(市の成人学級)でも日本語講師として長期間活躍。(現在休止中)

また、Nottingham大学で特別支援教育修士号取得後、トラウマについて学ぶ一方、Jolly Phonics/Jolly Grammar トレーナーとして2013年から活動開始。ジョリーフォニックスの指導経験はその時点で十年を超え、今もイギリス・日本・オンラインで指導者・学習者への指導とサポートを精力的に展開中。

「はじめてのジョリーフォニックス 1,2- ティーチャーズブック -」「はじめてのジョリーフォニックス 1,2- スチューデントブック -」監修。「ワーキングメモリと英語入門」編著。「ジョリーフォニックスで初めてのシンセティック・フォニックス授業〜トレーニングセミナー編〜DVD」発売中。ほか。



推奨

当トレーニングは以下をはじめ、多くの方から
ご推奨いただいています!(氏名の五十音順・敬称略)

Jolly Learning Ltd. 取締役社長 Chris Jolly

株式会社アニメシオン 代表取締役 太田真樹子

新潟ディスレクシアの会主宰 笹木睦子

特定非営利活動法人EDGE 会長 藤堂栄子

御菓子司 中末堂 中元靖大

on Dyslexia 主催 成田あゆみ

日本経営教育研究所 代表取締役社長 八田哲夫

JUN International Preschool 主宰 臨床発達心理士 榛谷都

有限会社 ソムニウム 代表取締役 丸山敦子

道村式漢字カード 道村静江

甲南女子大学 准教授 村上加代子

A&A English House 諸木宏子

ノートルダム清心女子大学 教授 湯澤美紀

2022年2月 トレーニング詳細



お子さんの英語の読み書き学習に悩む親御さん、英語の読み書きに苦手意識のある学生や社会人、これから英語を教えてみたい人、すでに英語を指導している先生、日本人相手の英語教育に携わっている英語の指導者や専門家。初心者からバリバリのプロまで、だれもが知っておきたい「フォニックス」「シンセティック・フォニックス」「ジョリーフォニックス」を一から学ぶ指導者向けトレーニングを開催します。

内容 Part 1, 2, 3 の三部でワンセットの指導者向けトレーニングです

- **Part 1** ◆日本語と英語の『音』の認識の違い、国語と英語の教え方の共通点
どなたでも!
 - ◆英語の文字(綴り)と音の関係を身につける『フォニックス』とは
 - ◆これまでの英語の『読み書き指導』方法の変遷、それぞれの特徴や長所・短所など
 - ◆21世紀の新しい指導法『シンセティック・フォニックス』とは
 - ◆教材『ジョリーフォニックス』を使った『42音と基本の綴り』の日本人向け指導方法
- **Part 2&3** ◆基本の42の音の次に学ぶ『同音異綴り』と、その指導法・学習法
Part 1 受講後に!
 - ◆『ひっかけ単語』と、その教授法・学習法~すべてがひっかけになっているわけじゃない!
 - ◆Decodable Books 習ったフォニックスで読める本
 - ◆できる子からできない子まで有効な『多感覚』『child-centred』『systematic』の意味を考える
 - ◆実践! 授業案の作成~グループ内レッスン体験~フィードバック
 - ◆特別な支援が必要な子どもたちにも効果があがる指導について、事例や教具をみながら考えよう
 - ◆読み書きが困難な状態を体験しよう! その体験を通じて、子どもたちへの支援とは何かを考える

※当トレーニングは日本語で行われます。お申込みやお渡しするハンドアウトなどもすべて日本語となりますので、ご了承ください。

※上記内容は2022年1月時点のものです。Part 1, 2, 3の内容や構成は追加、変更、入れ替えになる場合があります。

※ジョリーフォニックスには「指導するための資格」といったものではありません。当トレーニングは、受講により指導資格が得られるという性格のものではありません。

日程など 開催日程・受講費・会場・募集概要 (キャンセルポリシーを含めた詳細は別途「サービス利用規約」をご参照ください)

開催日程	受講費	セット価格(税込み)*1)
1 Part 1(前半)	2022年2月19日(土)	一般 30,000円
2 Part 1(後半)	2022年2月20日(日)	公立小中学校教諭 25,000円
3 Part 2&3(前半)	2022年2月26日(土)	U25(25歳以下) 10,000円
4 Part 2&3(後半)	2022年2月27日(日)	リピート受講 10,000円

開場 16:30頃
開始 17:00
終了 21:30
最長 22:00迄

*1) 公立小中学校現役教諭(講師/ALT/JTEは対象外)、教育委員会職員(JTEやパートは対象外)の方、25歳以下の方、2019年1月以降の山下桂世子のジョリーフォニックス総合トレーニングPart 1,2,3を受講済みの方(いずれもトレーニング受講時点の在籍・年齢で判断)の価格はよりお得になるよう設定されています。お申込み時にこれらに該当するか否かの情報をご記載いただくこととなりますので、ご協力をお願いいたします。(これ以外にも山下桂世子が関わっている市教委の先生や期限適用外のリピート受講者には、上記以外に多少の値引きが適用される場合があります。)

また、これ以外に別途手数料がかかる場合があります。

詳しくはサービス利用規約第2条をご確認ください。

会場: Web 会議サービス Zoom (オンライン) <https://zoom.us/>

募集概要: 上記日程で募集します。次のすべての条件をご了承いただける方のみを対象とし、12~24名程度の定員を予定しています。

- ・上記日程 Part 1&2&3 の4日間セットで受講いただける方 (遅くとも開始時刻5分前までの入室、最長終了時刻までの延長も大丈夫な方)
 - ・PCやMac、大型タブレットなどの比較的大きな画面で、かつ動画配信に耐えうる通信速度でオンライン受講が可能な方
 - ・「はじめてのジョリーフォニックス ティーチャーズブック」「はじめてのジョリーフォニックス スチューデントブック」の2冊をお手元にご用意いただける方 (できれば「はじめてのジョリーフォニックス 2 ティーチャーズブック」「はじめてのジョリーフォニックス 2 スチューデントブック」の2冊もご用意いただくことをお勧めしています)
 - ・Part 1とPart 2&3それぞれの開催の2日程前にダウンロードいただくハンドアウトの全部または一部を印刷して、当日お手元にご用意いただける方
 - ・その他、2度のフィードバック提出など、サービス利用規約をお守りいただける方
- ※受講には事前のお申込みが必要です。当日の飛び込み受講などは受け付けておりませんのでご注意ください。また、キャンセル・失効・欠席など、お申込み後に受講中止とする場合には、フォームまたはメールでのご連絡が必須となります。

詳しくはサービス利用規約第2条をご確認ください。

詳しくはサービス利用規約第4条をご確認ください。

その他 主催: 山下桂世子 協力: Jolly Study Square www.jollyss.com

詳細確認・お申込みは公示ページ(右QRコード)から。 <https://kayokoyamashita.com/2022ATJP>

※受付は受付システムが自動対応し、サポート業務のみ社外のJimuさんという個人に委託されます。詳しくはサービス利用規約を参照ください。

お申込みに関するお問い合わせ・ご連絡は、<https://kayokoyamashita.com/2022ATContact> お問い合わせ・ご連絡フォームをご利用ください。当欄左やサービス利用規約、公示ページやお申込み後に送られる各種メールなど、様々な場所で **青色のメールアイコン** をクリックしてご利用いただけます。

お申込み・お問い合わせはすべてメールベースでのやりとりとなります。@kayokoyamashita.comからのメールを受け取ることができるようあらかじめメールアカウントをご設定ください。詳しくは「メールが来ない!」(<https://kayokoyamashita.com/settings>:左ツールアイコン)の「2)」の項目をご確認ください。

